

事業名 : 自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務	
会議名称	自然エネルギー信州ネット 大北地域 学習会
開催日時	平成 23 年 12 月 15 日 (木) 14 : 00~16 : 00
実施場所	大町合同庁舎 講堂
参加者	事務局: 田中信一郎(長野県温暖化対策課) 春日一幸 (長野県温暖化対策課) 宮入 賢一郎 (自然エネルギー信州ネット 事務局長) 北安曇地方事務所 環境課 仙仁課長、宮下課長補佐 参加人数 : 31 名 (NPO、企業、行政、各団体、個人) 報道関係者: 1 名 (信濃毎日新聞社大町支局長 向井記者)
講師	仁科睦弘氏 (株式会社 仁科工業会長) 川上武氏 (大町市建設課課長補佐兼農地整備係長) 宮入 賢一郎氏 (NPO法人CO2バンク推進機構理事長)
記録者	山本逸人(自然エネルギー信州ネット事務局)

実施内容

宮入事務局長のあいさつに始まり、長野県温暖化対策課の田中企画幹、春日係長により自然エネルギー信州ネット、地域協議会について説明されました。次に講師により、地域協議会の設立の参考として、また本地域での自然エネルギー普及に向けた事例紹介がされました。

(1)自然エネルギー信州ネットについて

長野県と化石燃料使用、自然エネルギー需給の仕組みと地域の課題、自然エネルギー信州ネットの動き、専門部会について、地域協議会の立ち上げと進め方、他地域協議会の状況について田中企画幹より説明がありました。

次に春日氏により、自然エネルギー地域協議会設立に係る Q&A について説明されました。

(2)自然エネルギー普及に向けた事例紹介

1. 「仁科工業」の取り組み

講演者 仁科睦弘氏 (仁科工業会長)

仁科氏は5年程より小水力発電の試験を開始。小水力発電装置の特徴として

1. 水路の中に設置せずに、U字溝 (W350程度) 上に発電装置を置くだけ
2. 羽根を使っていない、半円の水受けが水力で水の中に出たり入ったりする楕円軌道の動きを回転運動に変換している。
3. ゴミがたまらない。
4. 使用実績がある自転車の回転部品を使用。コストを抑えることができる。
5. 複数台設置可能

・この水力発電装置について特許申請をしています。

(水力発電装置が動いている様子をビデオで上映)

また、水利権の問題を回避するため、水田の中でも発電できる方法を考案しています。間伐材を使って水路を作ることも検討しています。

2. 「大町市町川小水力発電所」の取り組み

講演者 川上武氏(大町市建設課課長補佐兼農地整備係長)

大町市が町川小水力発電所を建設、運転しています。ゴミ・チリの少ない水の確保が成否の鍵です。最大出力は 140kW。し尿処理施設の使用電力の 85%を供給しています。夜間の余剰電力は中部電力に売っています。稼働率が高いことから、原価が安くすみ、5,6年で元がとれます。23年度は100%の運転継続中だが、22年度は故障などにより41%の稼働率。発電設備の耐用年数は34年になります。

市の建設課で見学者を受け付けています。見学希望者はまとまった人数で応募してください。

3. 「NPO法人CO2バンク推進機構」の取り組み

講演者 宮入 賢一郎氏 (NPO法人CO2バンク推進機構理事長)

環境省 環境と経済の好循環のまちモデル事業 ながのエコシティプロジェクトの説明がされました。ながのエコシティプロジェクトは太陽光市民発電所プロジェクトと森のエネルギー推進プロジェクトからなり、①ファンド型市民事業と②寄付金型市民事業の2つのタイプの市民事業により事業を実施しました。ペレットストーブと薪ストーブの設置支援を行い、現在も森づくり・薪づくりを継続中です。

残り時間を利用し、20分程度、参加者が3グループに分かれ、自己紹介、意見交換が行われました。テーブルごとに代表者が話題について発表しました。

以上

記録写真

